

1. 第2次HPの概要 (1) 基本方針 (2) 新規性・改良点 (3)費用削減の効果 *素案

(1) 第2次HPの基本方針など

第2次HPの目的・目標は、第1次HPを発展的に継承

①協議会の規約に準拠 ⇒まちづくりの道具

「住民参加型」の「まちづくり総合型HP」を継承(地域社会の多くのHPは“お知らせ型”)

②ICTの利活用は世界の潮流、HP・スマートフォン・SNSをまちづくりに本格的に活用

③第2次HP(A案)は、対案のB案(第1次HPの階層構造型、メニュー構成方式を継承)と比較検討を行い、その結果、主として費用、開発工期面により、A案を採択した。

(2)第2次HPの機能の新規性・改良点

①メニュー構成、投稿時の操作性、画面表示、セキュリティー面など改良

メニュー構成は、旧HPと考え方が異なるので、利用活用面での事前確認、工夫が必要

②スマートフォン、タブレット端末の専用画面を新規採用

(3)新HPの費用削減の効果

①一時投資費用約30万円、年間費用約2万円 ⇒ 5年平均の年間費用⇒約8万円

<参考>現役世代/世帯のスマートフォン、パソコン等のICTの年間費用

2. 日の里HPの目的 * 平成16年度の第1次HPの目的を発展的に継承

(1)地域に密着した情報の発信

(2)住民の情報交換・交流

(3)コミュニティへの住民参画

(4) 運営協議会の情報公開

(5)地域のITリテラシーの向上

◇日の里住民が、ITを活用しながら、世代を超えて連携協調し、明るく健全な地域社会を築くための道具

◇ICTを活用した、住民主体・地域主導の新しい形のまちづくりを試行(モデル創り)

3. 第2次HPの目標 * 平成16年度の第1次HPの目標を発展的に継承

(1)日の里住民の誰もが参加できるHP(コンテンツ構成)

◇楽しい・面白い・ためになる・役に立つHP

◇生活に近い所でITを活用 ITの新しい利用分野、利用者層を開拓

4. 日の里HPの目標

* 平成16年度の第1次HPの目標を発展的に継承

(2)日の里の地域特性を生かしたHP

◇まちづくりの「現場」でのHPの活用

◇趣味・遊び・学びをテーマとしたHPの活用

◇社会参画、自己実現の場の提供

(3)地域の人材活用

◇暮らしやまちづくりの知識・経験・知恵の蓄積と活用

(4)元気な日の里の姿を域外にもアピール

◇日の里からの情報発信 ⇒開かれた地域社会

(5)常に情報更新が可能なHP ⇒利用者離れを防ぐ

◇分散HP更新方式の採用(家庭・職場・コミセンなど)

(6)セキュリティの確保⇒ヒトとコンピュータの仕組で担保

(7)将来的な拡張性の確保⇒小さく生んで大きく育てる

(8)将来的なランニングコストの抑制 ⇒画面上に広告

◇日の里HPは、一般的なHPとは異なり、日の里の地域特性を生かした
独自性の高いHP創りを目標とする。